

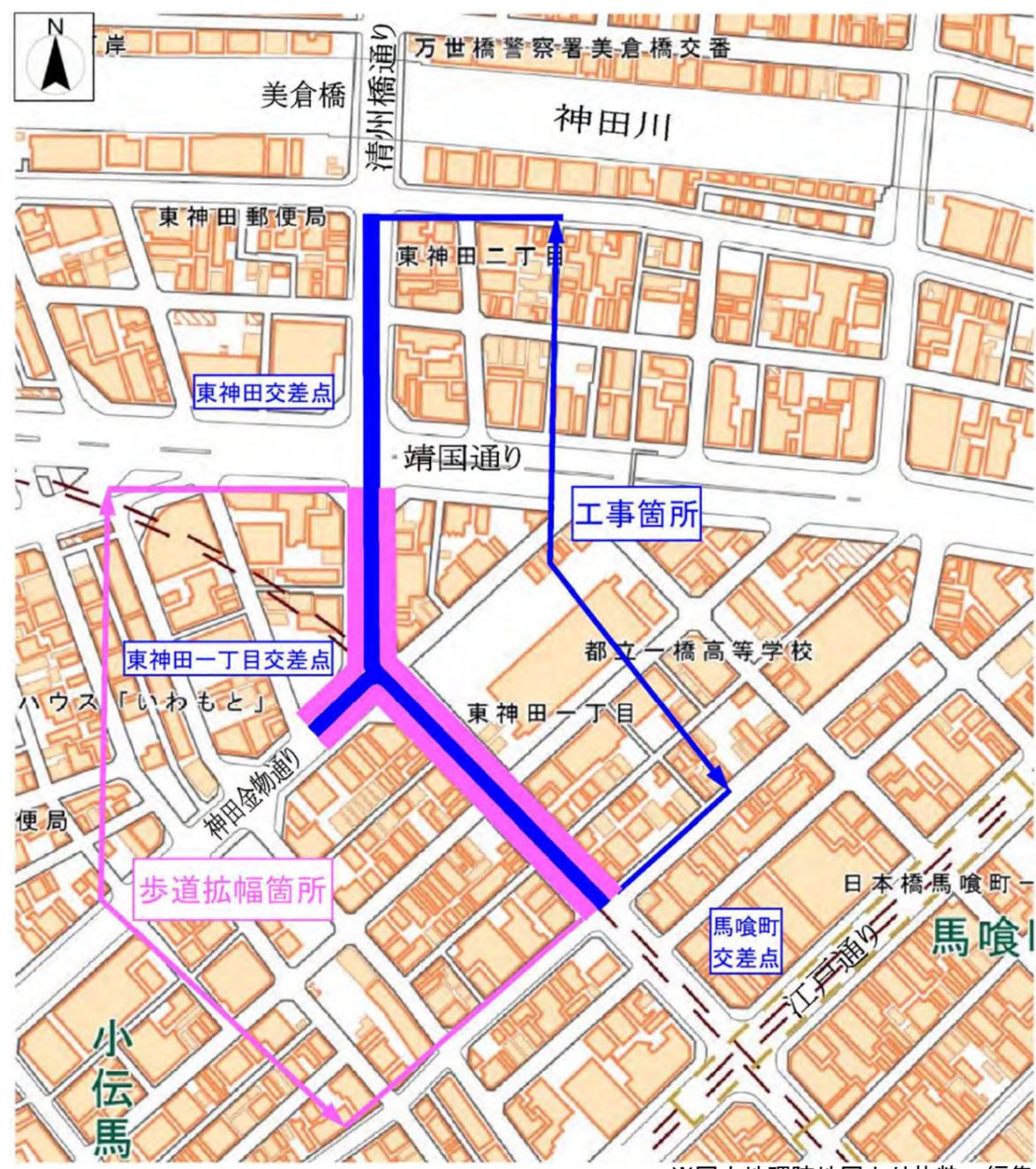
第2回 清洲橋通り南

道路整備沿道協議会

清洲橋通り(靖国通り以南)の道路整備について

(1) 道路整備検討箇所

- ①路線名:特別区道千第 789 号
- ②整備箇所:千代田区東神田二丁目 4 番先~中央区日本橋馬喰町一丁目 8 番先



(2) 現況写真



東神田交差点より南側



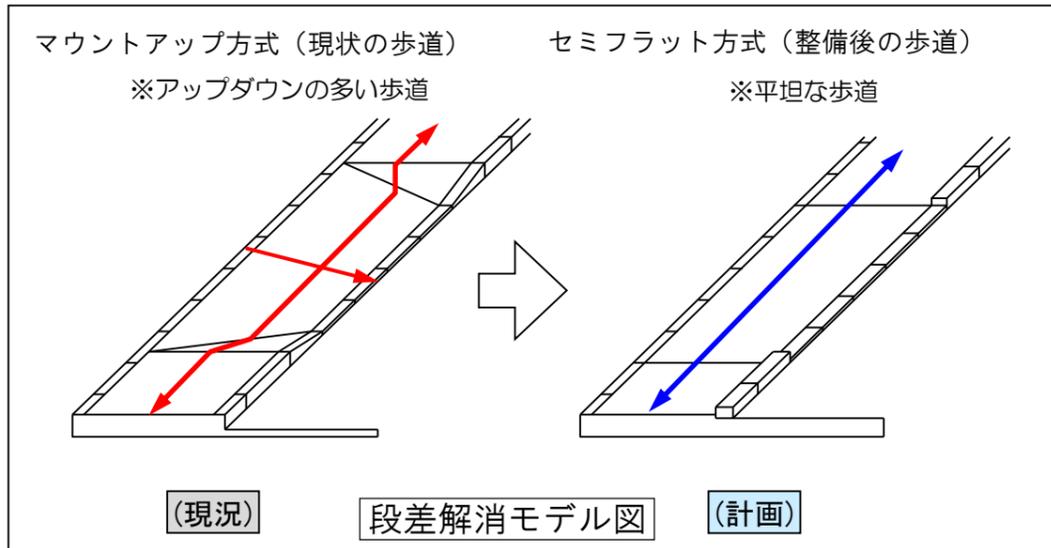
東神田一丁目交差点より南側

(3) 主な整備概要

- ①歩道の拡幅・バリアフリー化（勾配・段差の解消）
- ②歩道の保水性ブロック舗装（路面温度上昇の抑制）
- ③老朽化した車道舗装の打ち換え（車両交通の安全）
- ④車道の遮熱性舗装（夏の路面温度を抑える）
- ⑤街路灯のLED化（環境配慮・省エネ）
- ⑥防護柵の設置（歩行者の安全）
- ⑦自転車通行空間整備（歩行者と自転車の分離）

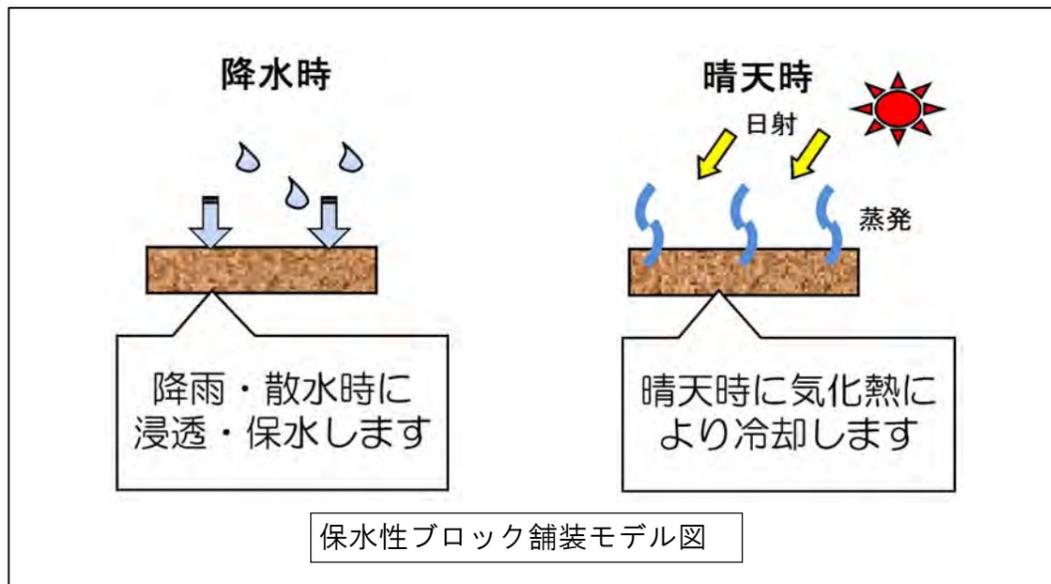
①歩道の拡幅・バリアフリー化（勾配・段差の解消）

急勾配や段差を解消し、歩道拡幅とバリアフリー化をします。



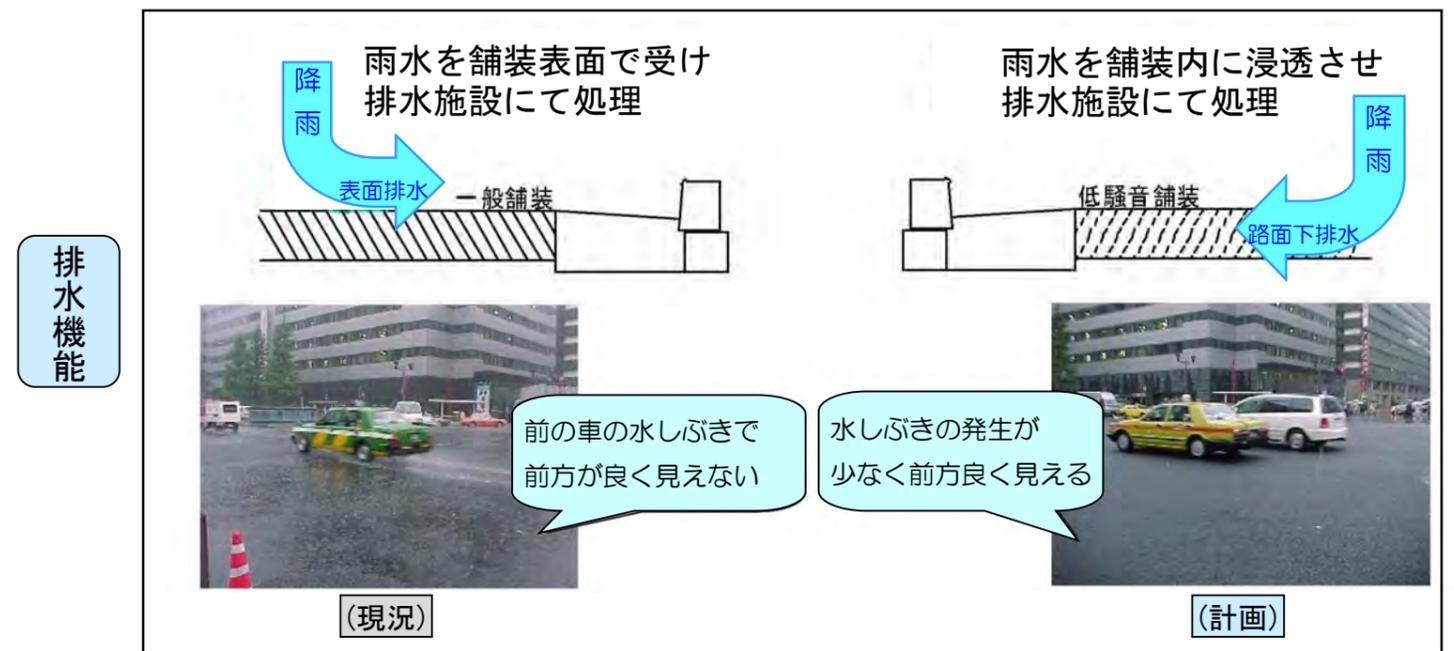
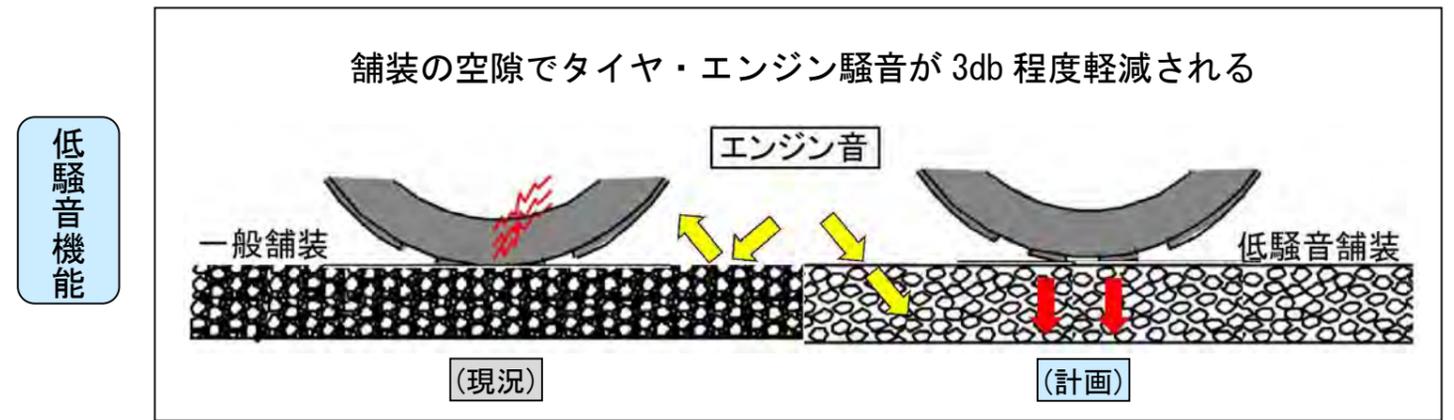
②歩道の保水性ブロック舗装（路面温度上昇の抑制）

路面温度の上昇を抑えヒートアイランド現象を抑制します。



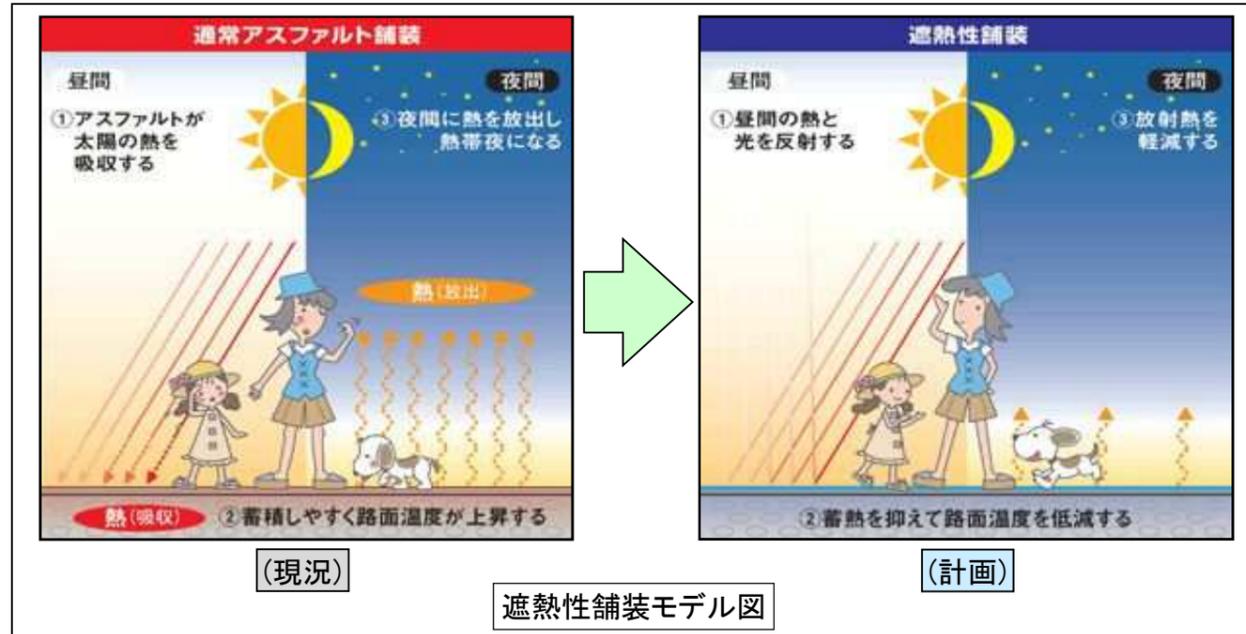
③老朽化した車道舗装の打ち換え（車両交通の安全）

低騒音舗装(排水性舗装)を行い、騒音抑制と雨水の排水能力の向上をします。



④車道の遮熱性舗装（路面温度上昇の抑制）

路面温度の上昇を抑えヒートアイランド現象を抑制します。



⑥ガードパイプの設置（歩行者の安全）

ガードパイプを設置し、歩行者の安全を確保します。



横断防止柵(参考)
※人の横断を抑止する柵

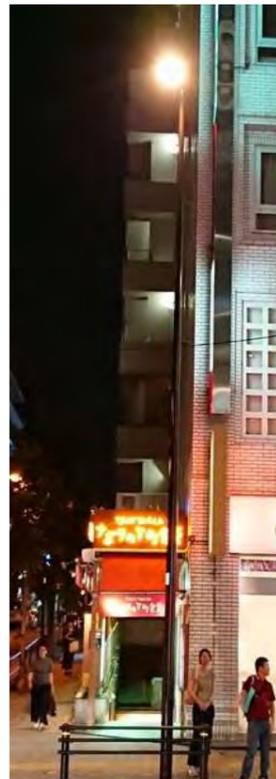
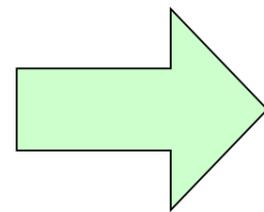
車両用防護柵(参考)
※車の突入を防止する柵

⑤街路灯のLED化（環境配慮・省エネ）

環境へ配慮したエネルギー効率の良いLED照明へ更新します。



清洲橋通り既設照明
(ナトリウムランプ)



LED照明(参考)

⑦自転車通行空間整備

歩行者と自転車の通行箇所を明確にし安全を確保します。

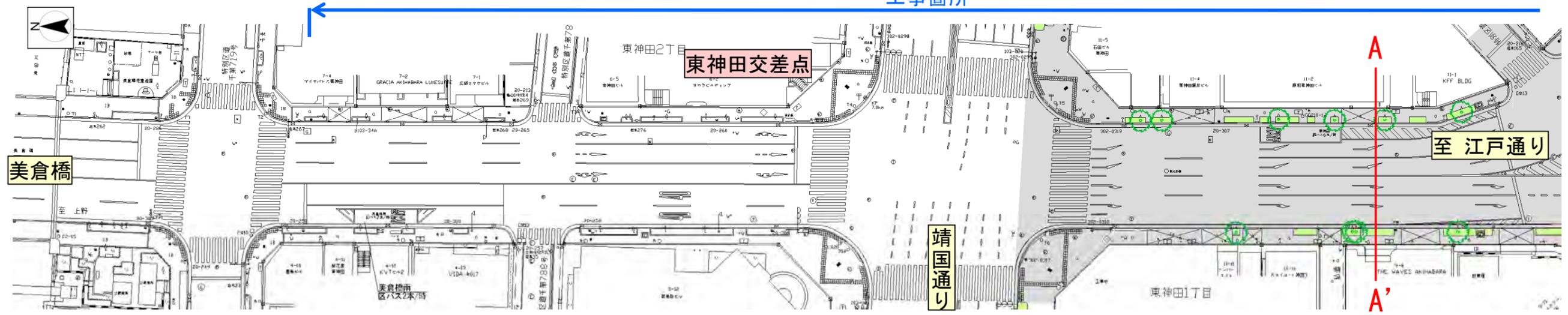


自転車通行空間整備(参考)
外堀通り

(4) 現況平面図、現況標準断面図
 計画平面図(案)、計画標準断面図(案) 1/2

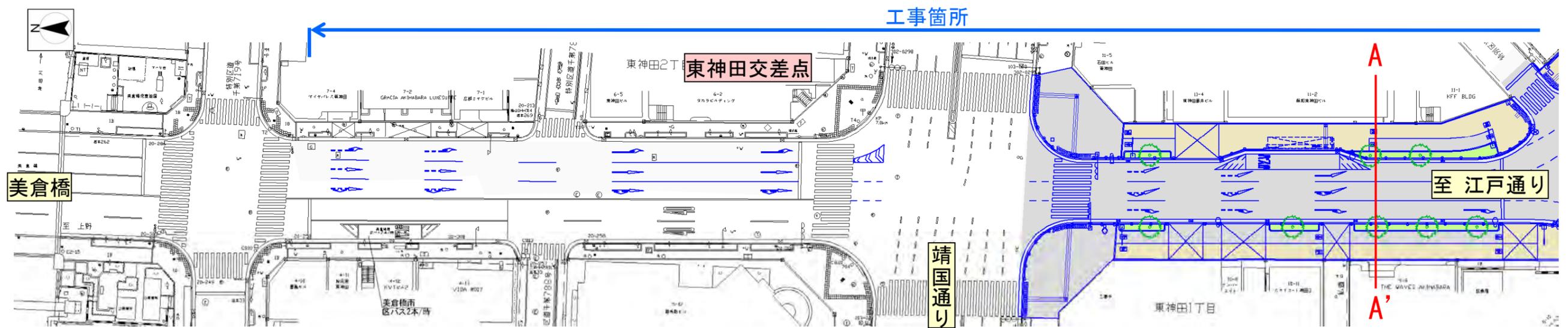
現況

工事箇所



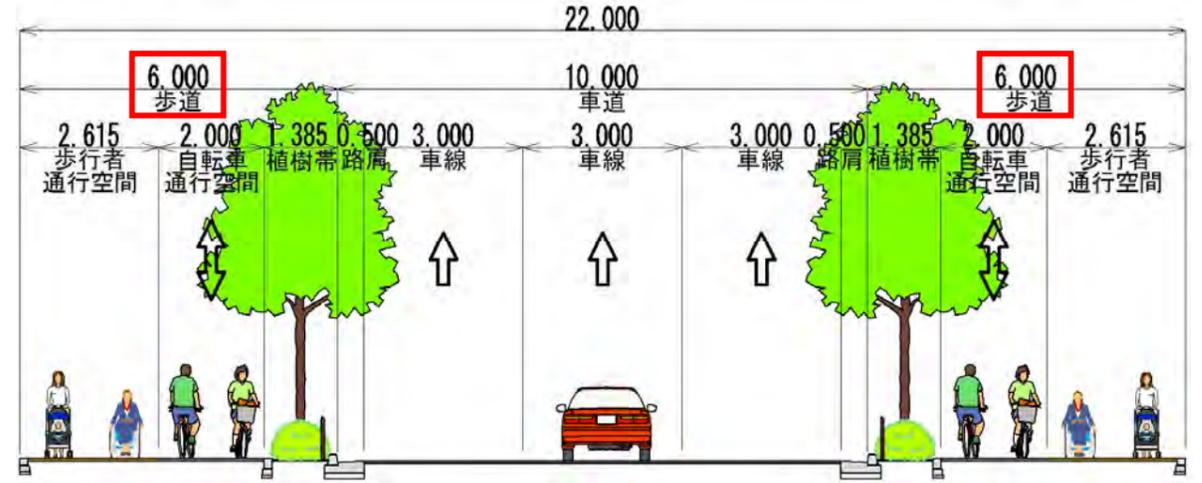
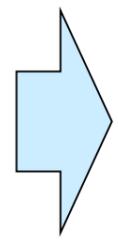
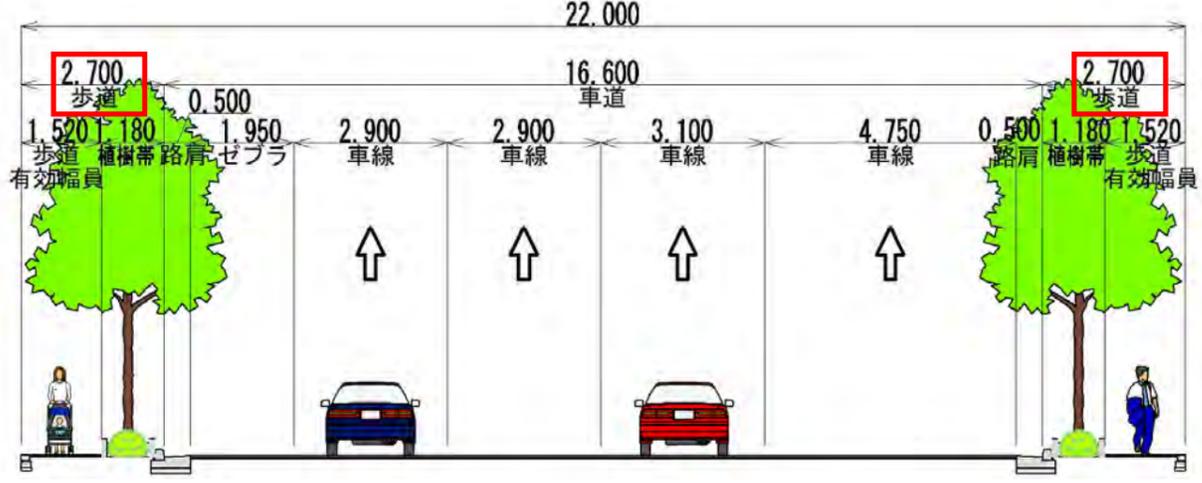
計画(案)

工事箇所



現況
A-A'

計画(案)
A-A'

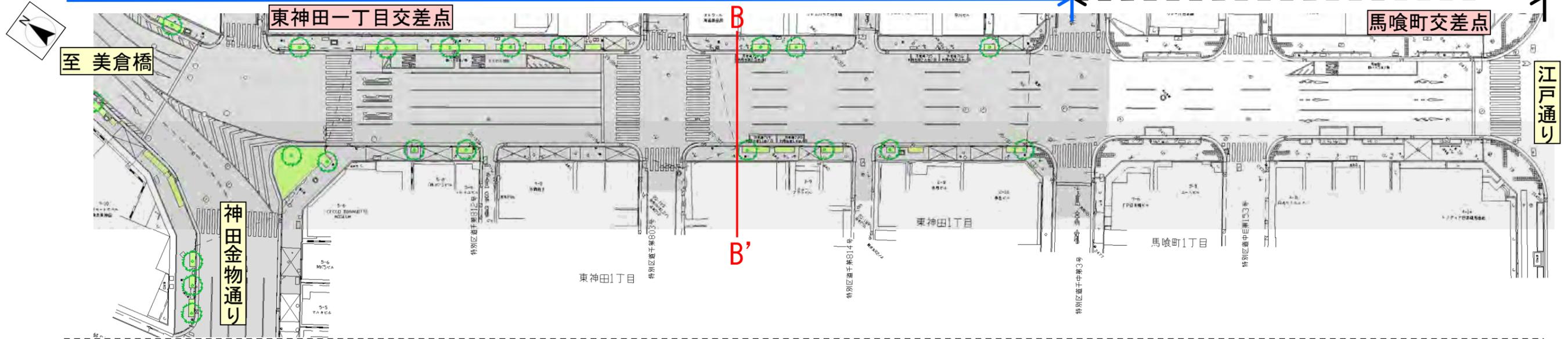


現況平面図、現況標準断面図
 計画平面図(案)、計画標準断面図(案) 2/2

工事箇所

現況

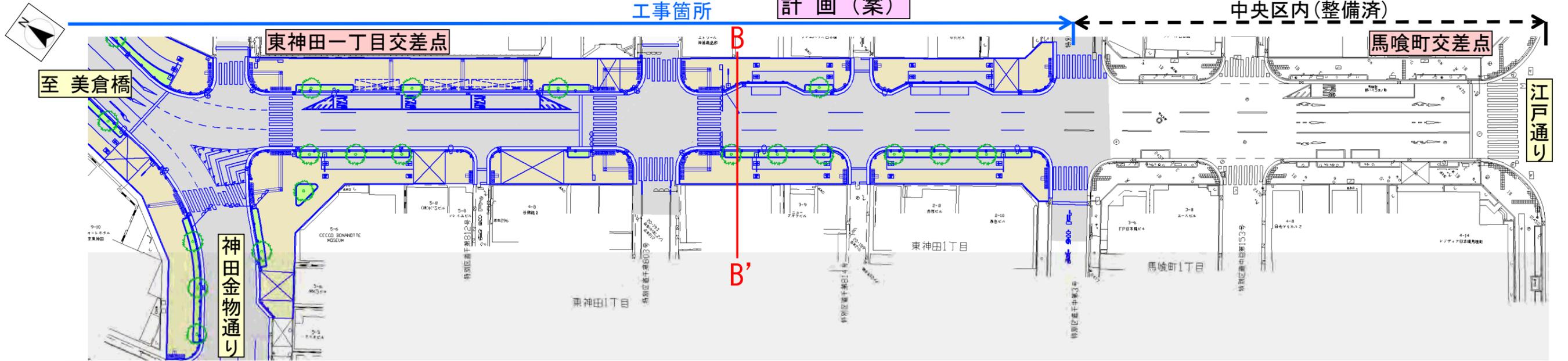
中央区内(整備済)



工事箇所

計画(案)

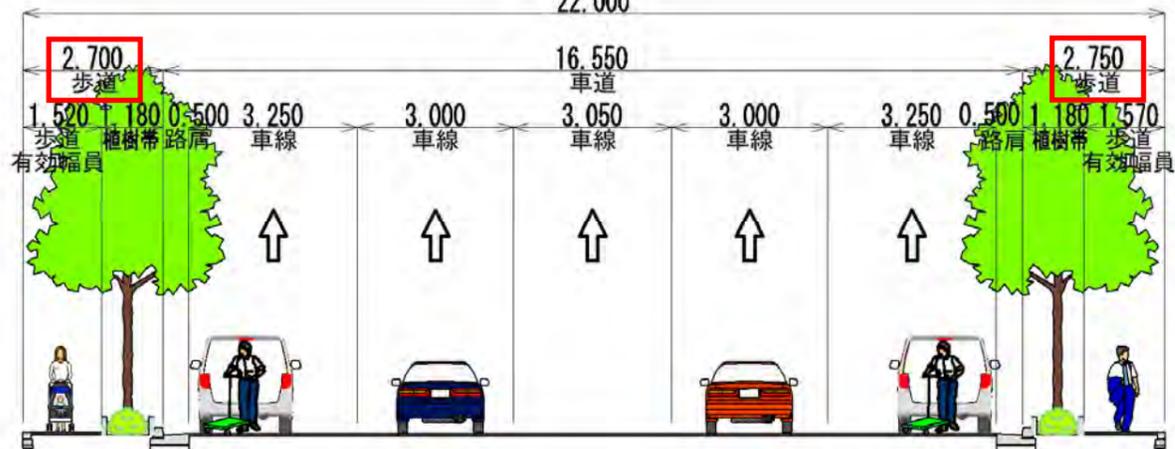
中央区内(整備済)



現況

B-B'

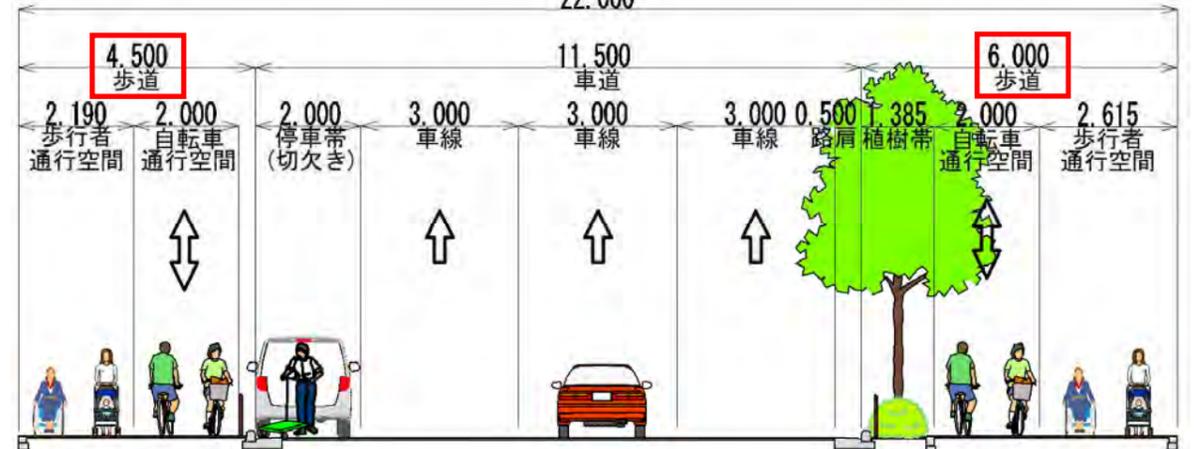
22.000



計画(案)

B-B'

22.000



(5) 清洲橋通りの植栽

(5)-1. 現況の樹木について

①【区管理の樹木】イチョウ、カキ（合計 26 本）

外観診断	2023. 8 実施	
判定	判定内容	本数
A 判定	健全か健全に近い	16 本
B 1 判定	注意すべき被害が見られる	7 本
B 2 判定	著しい被害が見られる	0 本
C 判定	不健全	3 本

移植適正度診断	2023. 8 実施	
判定	判定内容	本数
A 判定	健全木・移植可能	4 本
B 1 判定	倒伏あるいは枯損する可能性がやや高い	5 本
B 2 判定	倒伏あるいは枯損する可能性が高い。あるいは物理的に移植不可	17 本

※上記の判定は、他の場所に一旦移植し、戻した場合の判定結果です。

②【区管理外の樹木】（合計 5 本）

樹種	外観診断	移植適正度診断
サクラ	C	B2
サカキ	未調査	未調査
ブドウ	未調査	未調査
モモ	未調査	未調査
カキ	未調査	未調査

(5)-2. 前回協議会の主なご意見

- ・希望の街路樹に変わっている。
- ・街路樹が無くなるのは考えられない。
- ・イチョウは止めて欲しい。（掃除が大変、特に一橋高校あたり）
- ・キンモクセイ、サルスベリなど良いのではないか。
- ・区管理外の樹木を無くすのは寂しい。

(参考) 千代田区の木 → マツ
千代田区の花 → さくら

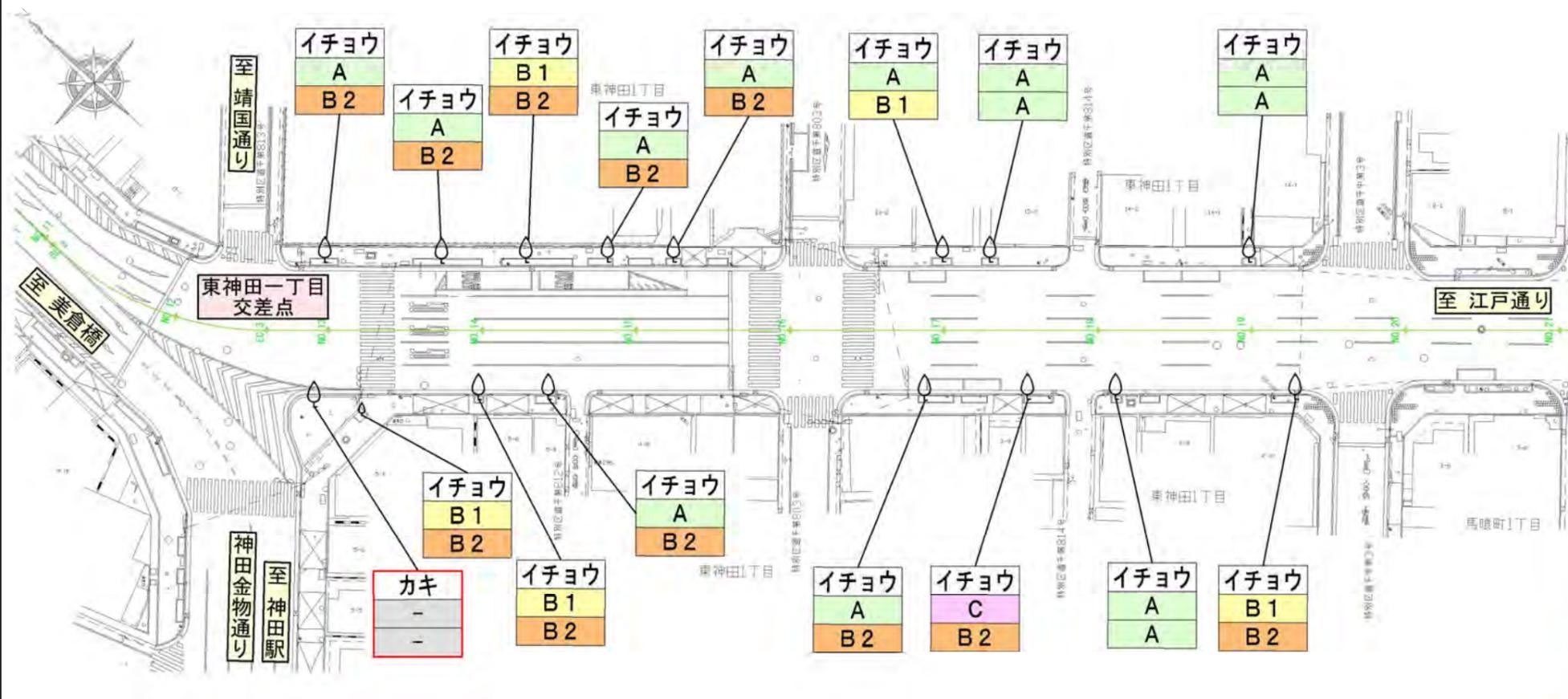
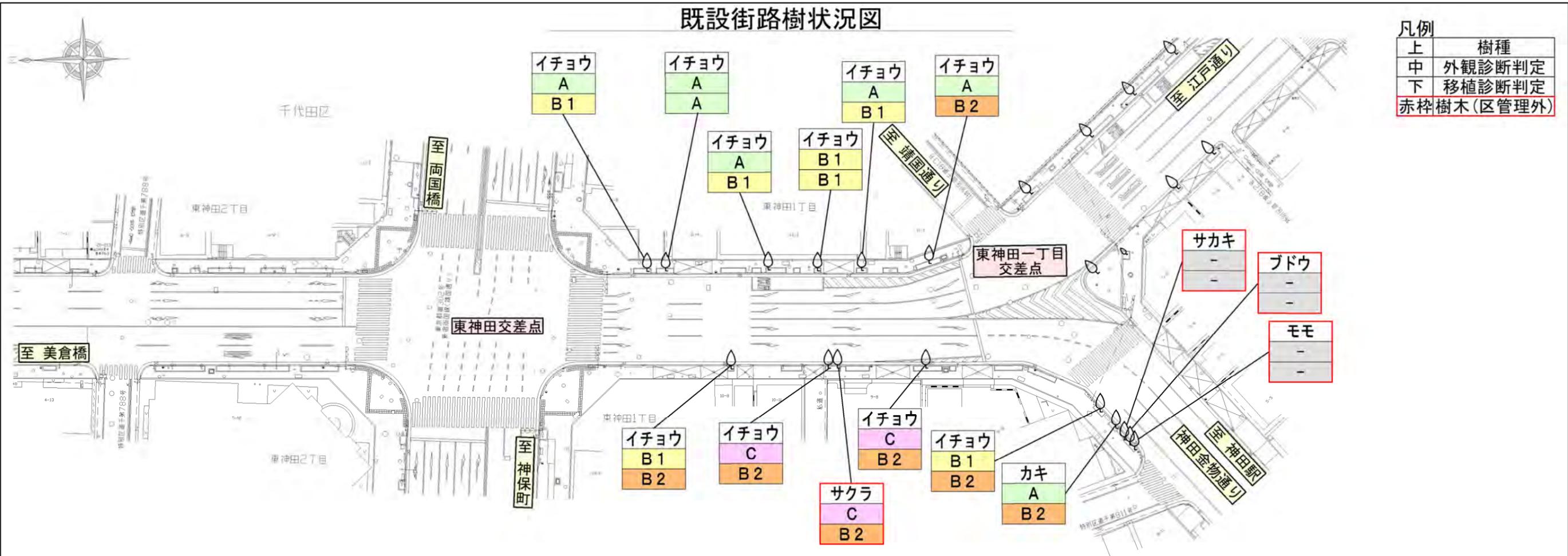
(5)-3. 計画の樹木について

①計画の樹木の本数 26 本（予定）

②計画の樹木の取り扱い

- 1 案：31 本中 26 本を移植し、5 本を撤去する案
- 2 案：移植可能な樹木を移植し、その他を新しい樹木にする案
- 3 案：新しい樹木に植え替える案

既設街路樹状況図



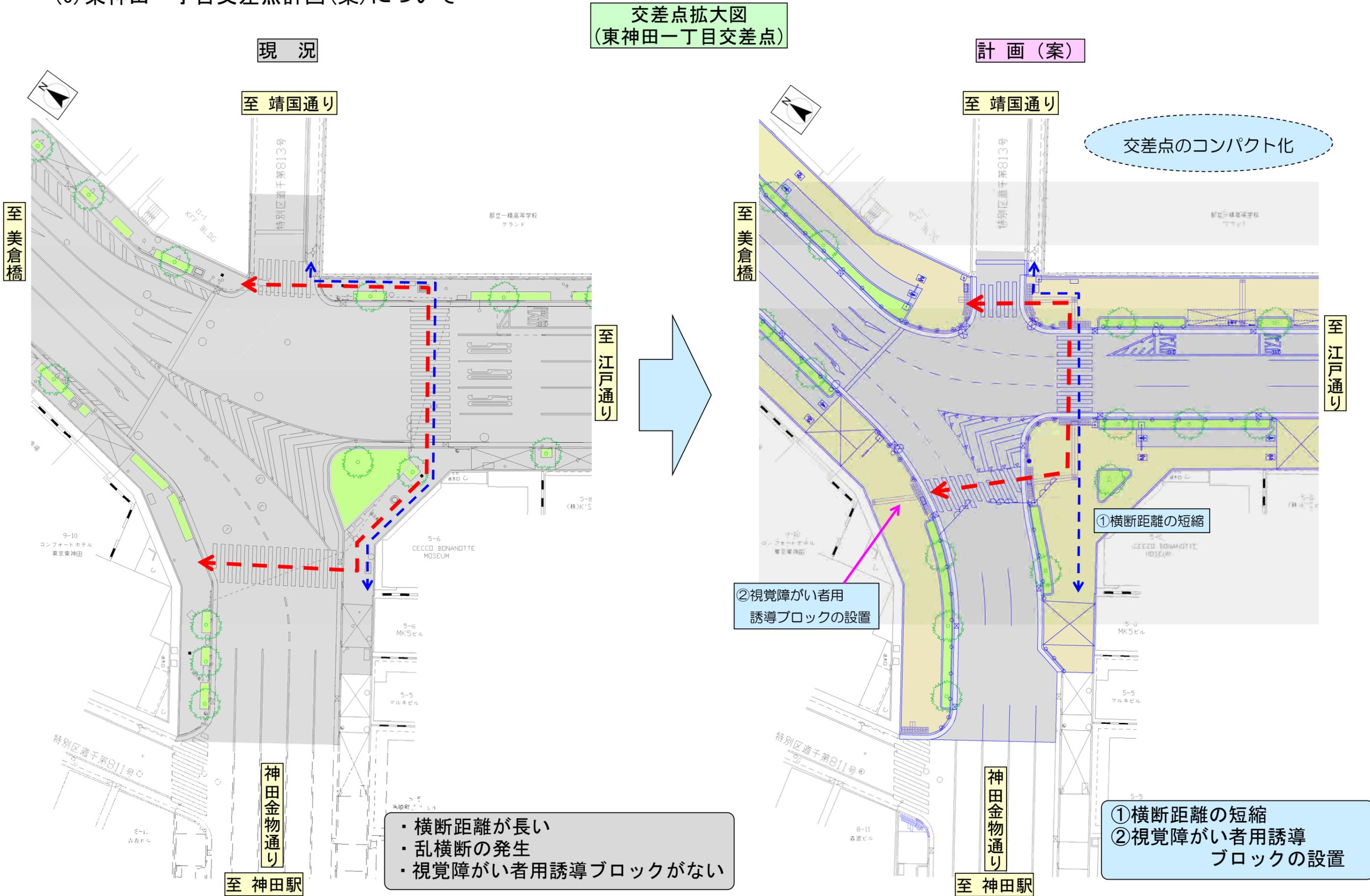
外観診断判定(2023年8月時点)

判定	数量(本)	備考
A	16	健全か健全に近い。
B1	7	注意すべき被害が見られる。
B2	0	著しい被害が見られる。
C	3	不健全

移植診断判定(2023年8月時点)

判定	数量(本)	備考
A	4	健全木・移植可能
B1	5	倒伏あるいは枯損する可能性がやや高い。
B2	17	倒伏あるいは枯損する可能性が高い。あるいは物理的に移植不可。

(6) 東神田一丁目交差点計画(案)について



(7) 区道 813 号を車両直進可能とした場合の検討について

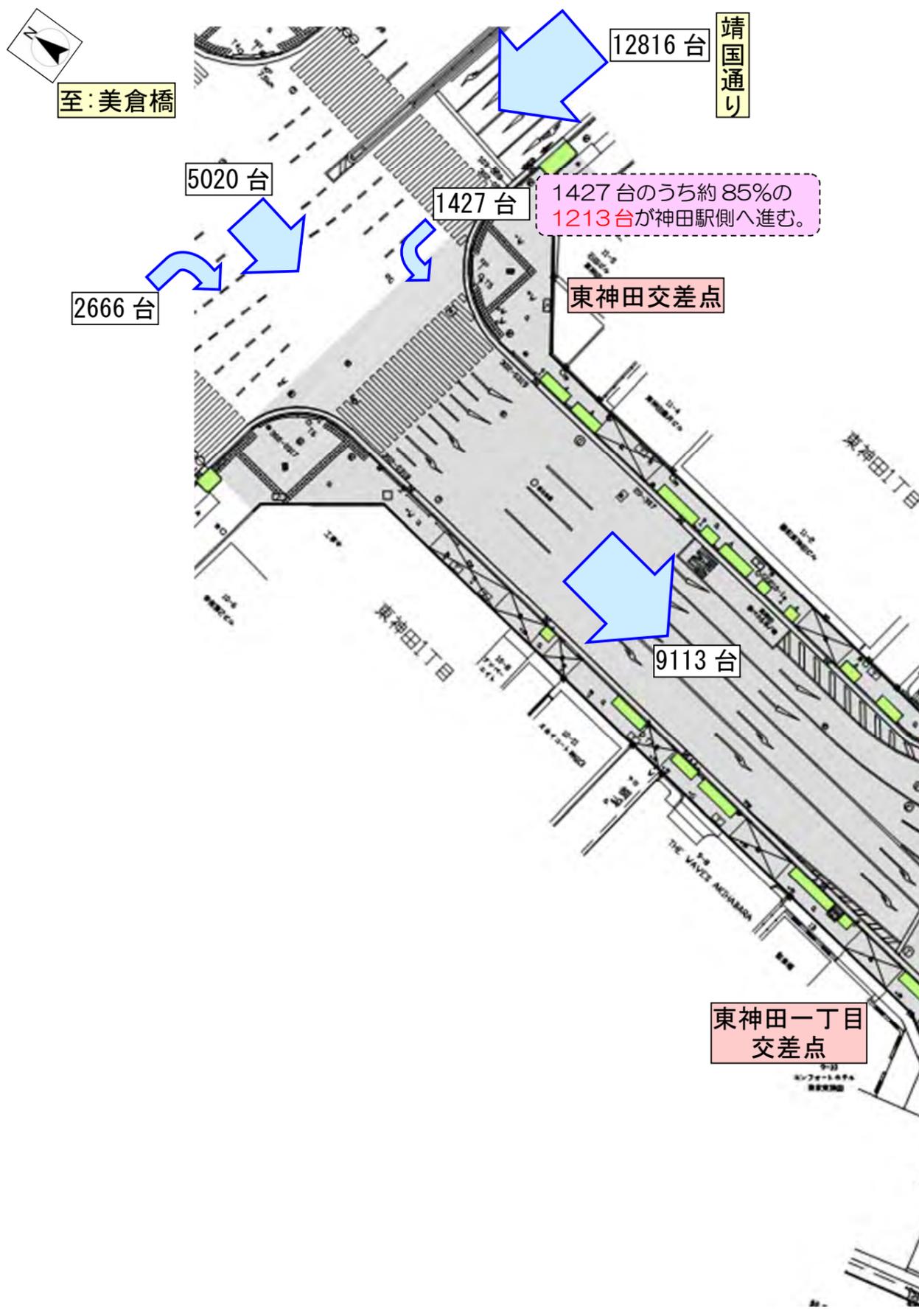
(7)-1. 前回協議会のご意見について



＜現 況＞
 靖国通りから神田駅方向へ向かうには、赤矢印ルートを通る必要がある。

＜前回協議会のご意見＞
 靖国通りから神田駅方向へ向かうために赤矢印ルートも青破線ルートも通行出来るようにしたい。

(7)-2. 東神田一丁目周辺の交通状況



交通量調査日
 令和4年6月21日(火) 7時~19時

<区道813号>
 通行車両 5~15台/時
 平均 10台/時

1回の信号で1台~2台
 並ぶ程度

至江戸通り

至神田駅

(7)-3. 区道 813 号を車両直進可能にした場合



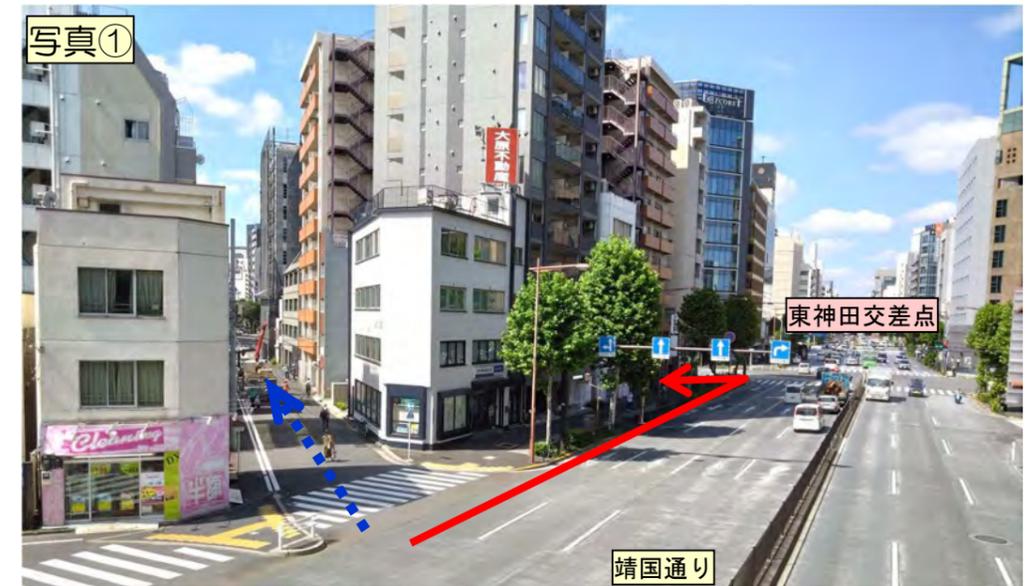
<区道 813 号>現況
通行車両 5~15 台/時
平均 10 台/時

1 回の信号 (150 秒) で
1 台~2 台並ぶ程度

<区道 813 号>推計
通行車両 30~90 台/時
平均 60 台/時

1 回の信号 (150 秒) で
1 台~12 台並ぶ程度

(7)-4. 区道 813 号を車両直進可能にした場合のメリット・デメリットについて



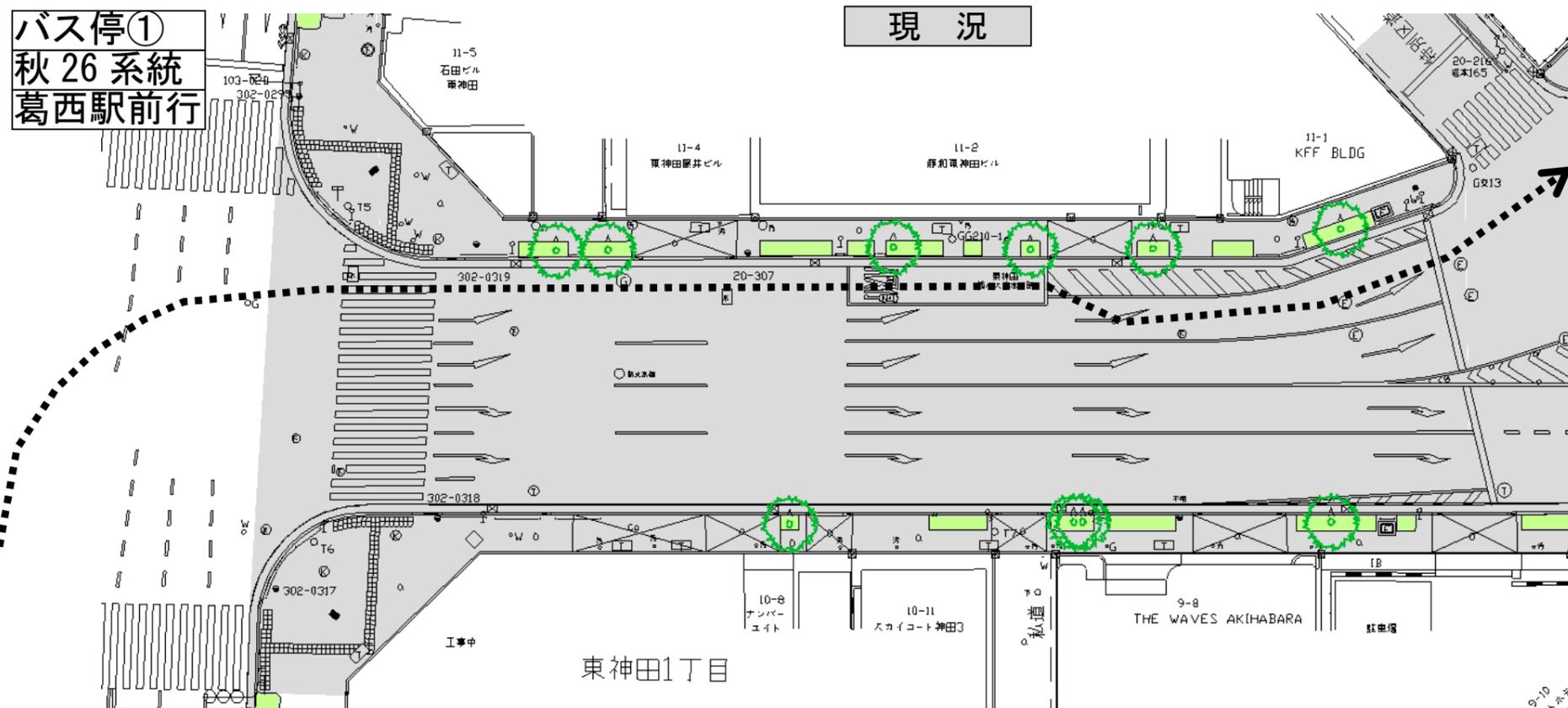
<メリット>

- ・直進通行方向の制限が無くなるため不便が解消される。

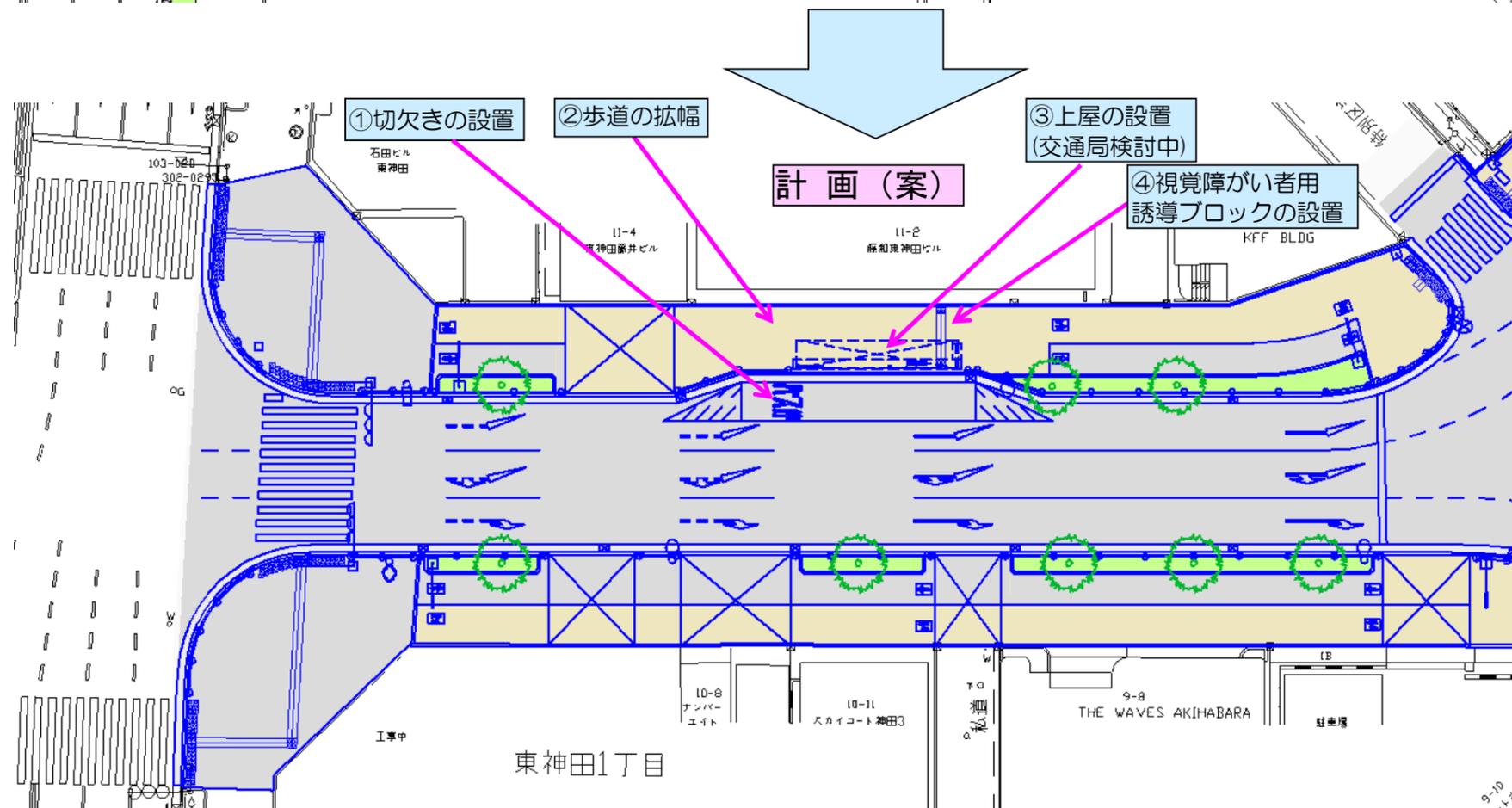
<デメリット>

- ・東神田交差点をショートカットする車の増加。
- ・渋滞の発生。
- ・交通事故が増加。
- ・沿道の騒音、振動、排気ガス等の増加。

(8) バス停部の形状について



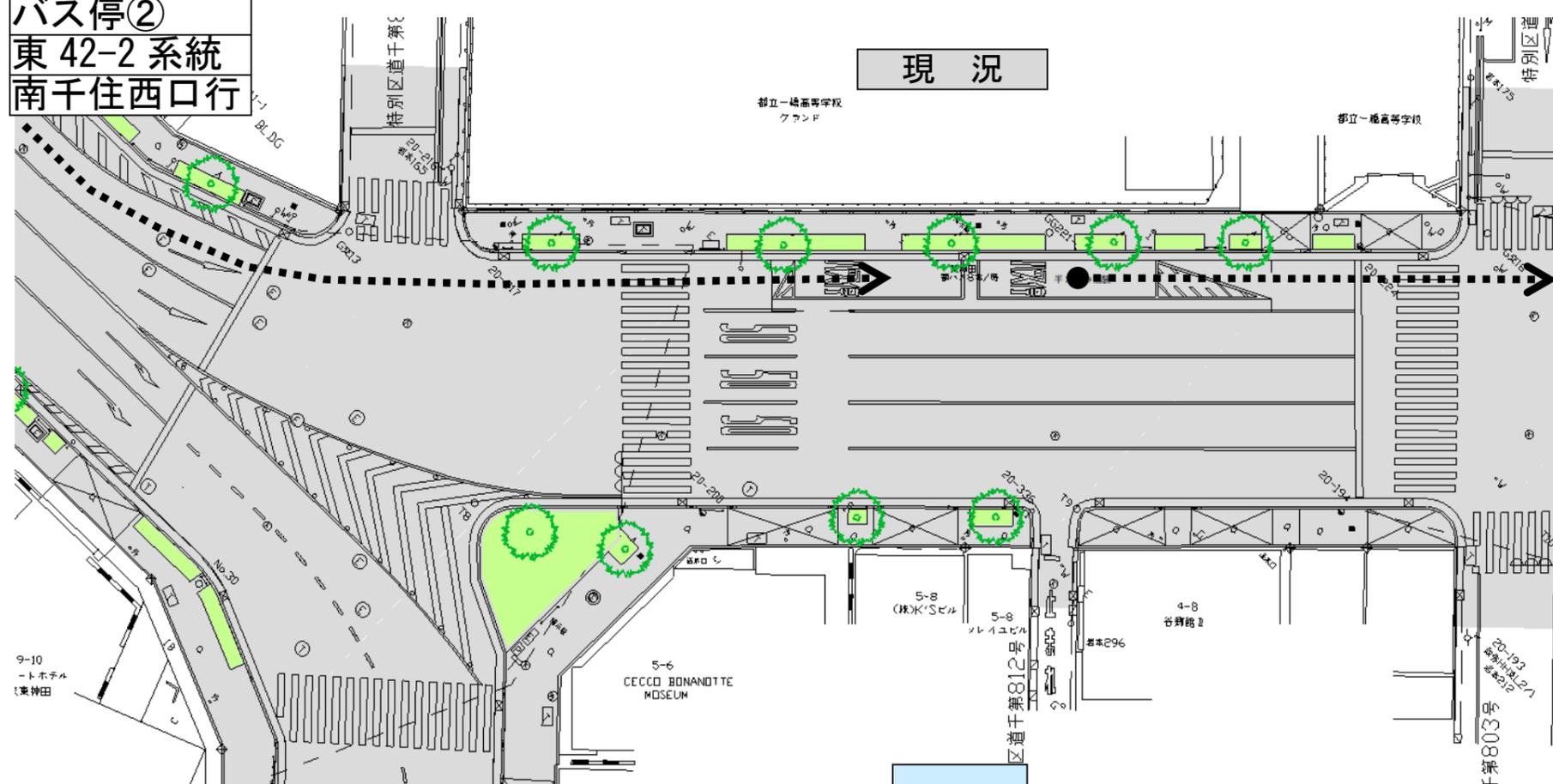
- ・ 歩道部が狭く、待機スペースが不足
- ・ 屋根が無く、雨や日当りをしのげない
- ・ 視覚障がい者用誘導ブロックがない



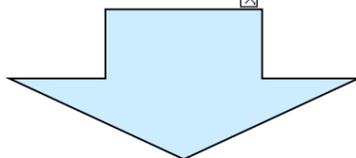
- ① バス停に切欠きを設け通過し易くする
- ② 歩道の拡幅 (バス停部 2.5m→4.5m)
- ③ 上屋を設置する計画あり (交通局で検討中)
- ④ 視覚障がい者用誘導ブロックの設置

バス停②
東 42-2 系統
南千住西口行

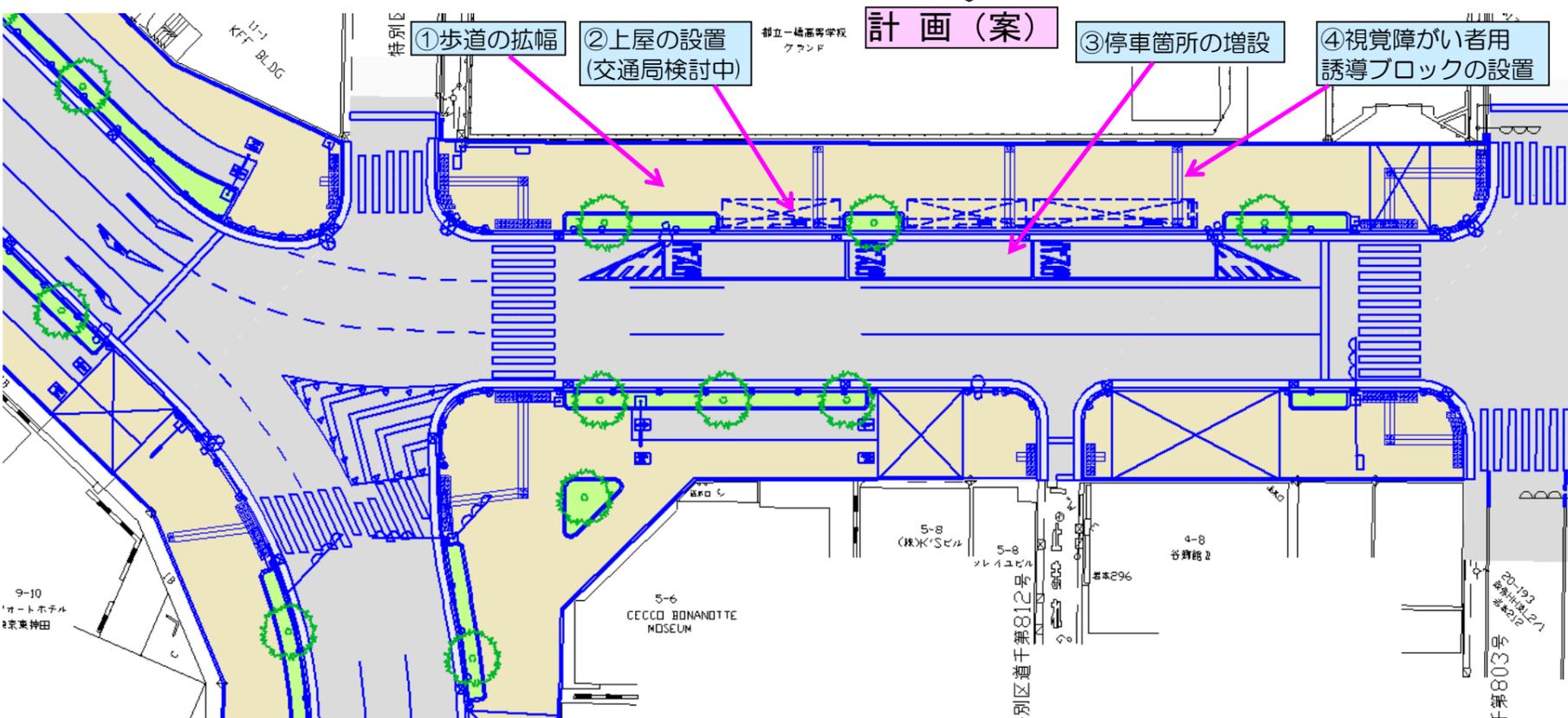
現況



- ・ 歩道部が狭く、待機スペースが不足
- ・ 屋根が無く、雨や陽当りをしのげない
- ・ 視覚障がい者用誘導ブロックがない



計画(案)



- ① 歩道の拡幅 (バス停部 2.5m→6.0m)
- ② 上屋を設置する計画あり
(交通局で検討中)
- ③ バス停車箇所を 1 箇所増設
(交通局要望: 運転手の働き方改革)
- ④ 視覚障がい者用誘導ブロックの設置

(9) 整備イメージ

